

## 国立大学法人大阪教育大学 教育学部

### 多文化教育系（初等教育部門）テニュアトラック教員（特任准教授または特任講師）公募

1. 職名及び人員 特任准教授または特任講師（テニュアトラック） 1名
2. 所属組織 多文化教育系（教員養成課程 初等教育部門）
3. 就業の場所 （雇入れ直後）大阪教育大学天王寺キャンパス・柏原キャンパス  
（変更の範囲）変更なし
4. 専門分野 国語科教育学
5. 職務 （雇入れ直後）授業，研究指導，学位論文審査，研究活動及び入試関係業務を行うとともに，教育課程の編成その他関連組織の運営について責任を担う職務  
（変更の範囲）変更なし
6. 担当授業科目等（学部）
  - ・初等国語科教育法
  - ・小学校教科専門科目（国語 a， b）
  - ・国語科学習指導研究 I， II
  - ・幼児と言葉
  - ・卒業研究科目（課題研究 I， II）など（大学院）専攻：高度教職開発専攻 コース：教育実践力コース
  - ・授業研究〔小学校国語〕
  - ・高度授業研究〔小学校国語〕
  - ・学校実習科目
  - ・実践課題研究※大学院では主に夜間開講を担当いただきますが，昼間開講をご担当いただく場合もあります。
7. 応募資格 (1) 修士以上の学位を有する方  
(2) 国語科学習に係わって先進的な実践論的研究業績を有する方  
(3) 小学校または中学校において教育歴を有する方  
(4) 幼児教育並びに教科横断的学習に関心を持ち，取り組む意欲のある方
8. 採用予定日 令和7年4月1日
9. テニュアトラック期間 4年（毎年度の契約更新）（令和11年3月31日まで）  
契約の更新は，勤務成績，勤務態度，能力等により総合的に判断する
10. 勤務形態 専門業務型裁量労働制（1日7時間相当）  
休日：土曜日，日曜日，国民の祝日，その他（12月29日～翌年1月3日）  
※休日勤務の場合がありうる（その場合は原則振替を取っていただきます。）
11. 給与等 国立大学法人大阪教育大学特任教員及び特命職員給与規程による
12. 社会保険等 厚生年金，健康保険，介護保険（40歳以上の場合），雇用保険，労災保険に加入
13. 応募締切日 令和6年12月2日（月）17:00 【必着】
14. 提出書類 (1) 個人調書（本学所定の様式）  
※印刷したものを郵送の上，電子データをメール添付にて提出してください。  
(2) 個人調書に記載の業績のうち主要な業績の現物又は写し（5篇以内）  
(3) 着任後の研究・教育に対する抱負（1200字程度，形式は自由）  
※提出書類については，原則として返却いたしません。個人調書等に含まれる個人情報，教員選考以外の目的には使用せず，審査終了後，廃棄いたします。なお，書籍・論文等の研究業績を返却希望の場合は，返却先を記載の上，サイズに応じてレターパックまたは着払用のゆうパックの送り状を同封してください。また，選考結果の発送については，本学 Web サイトの「採用情報」にてお知らせします。
15. 書類提出先 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1  
大阪教育大学総務部人事課人事係あて（E-mail ninyo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp）  
（封筒に「初等教育部門（国語科教育学）教員応募書類在中」と朱書きし，簡易書留で郵送してください。）
16. 第2次選考（面接） 第2次選考対象者には，面接（模擬授業を含む）を実施します。  
面接実施日は令和6年12月22日（日）を予定しています。  
なお，面接に伴う旅費は自己負担です。

17. テニユア審査  
テニユア教員（任期を付さない雇用）への採用は、テニユアトラック期間終了年度に実施します。  
テニユア審査に際しては、本学が定める業績基準を満たすことに加え、テニユアトラック教員としての在職中に、以下のいずれかを満たすことが求められます。  
【研究者教員として採用された場合】 学校等との協働による教育実践又は実践研究の実績  
【実務家教員として採用された場合】 著書、論文等の実績  
なお、中間評価を3年目に実施し、中間評価において特に優れた研究業績をあげたテニユアトラック教員は、任期途中でもテニユア教員に採用されることがあります。
18. 問い合わせ先  
人事課人事係 TEL 072-978-3233 FAX 072-978-3243  
E-mail [ninyo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:ninyo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)
19. そ の 他  
・ 本学の大学教員の定年年齢は、満65歳です。  
・ 「大阪教育大学男女共同参画推進行動計画」に基づき、ダイバーシティ推進に向けて取り組んでいるほか、男女比率のバランスに配慮した採用を進めております。（本学のダイバーシティの取組状況は本学 Web サイトをご覧ください。）